

こどもの城 ニュース

KODOMO NO SIRO
NEWS



2011・11・1 NO. 235 発行 / [こどもの城] 広報課 ☎ 03-3797-5674
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-53-1
http://www.kodomo-no-shiro.jp

親子で遊ぶ、家族と遊ぶ

〔こどもの城〕では、開館記念日の11月1日をふくむ10月29日～11月30日を「こどもの城ファミリーフェア～みんなで遊んで家族の絆(きずな)を深めよう～」として、「家族でいっしょに楽しむプログラム」をテーマにさまざまな催しを行います。子どもの遊びを見守るだけになってしまいがちな大人も、いっしょになって楽しめるプログラムがいっぱい。大人と子どもが一体となって協力して参加するプログラム、子育てを支援するプログラム、そして「家族」の大切さや絆を見直すきっかけになるようなプログラム——楽しみ方も、〈あそび〉もいろいろ。

今月号は、家族の絆を深める「こどもの城ファミリーフェア」を紹介します。

◆お父さんもいっしょに◆

仕事が忙しくて、家でなかなか子どもたちと遊ぶ時間がとれないお父さん。時には子どもたちと、思いっきり遊んでみましょう。お父さんが遊びに加わると、遊びがよりダイナミックなものになり、楽しさもいっそうふくらみます。〈あそび〉で親子のコミュニケーションを！



おとうさんのあそび市
11月5日(プレイホール/13時～16時)

東京近郊の「父親サークル」のお父さんが、〔こどもの城〕に大集合！絵本の読み語りやバレーアートなど。

お父さんと運動あそび
10月30日～11月27日の日曜日・祝日(体育室/14時)

お父さんは子どものころに、どんな〈あそび〉やスポーツを楽しんでいたの？お父さんに聞いて、みんなで遊ぼう。
※11月20日は家族で卓球(10時～17時)。

あそびでつくる家族のWA！「おとうさんも参加してね」
11月13・20・23日(音楽ロビー/13時、15時)

みんなで音楽遊び。大きな「家族の輪」を作ります。

うたってファミリー「おとうさんも参加してね」
11月26・27日(音楽ロビー/13時、15時) ※26日は13時のみ

家族でエンターして、生バンドの演奏にあわせて歌います。

みなク工房へお父さんといっしょスペシャル 11月6・20日(ビデオライブラリー/13時～16時)

「からくりおもちゃ」の「ばたばたバタフライ」(6日)をお父さんといっしょに作ったり、熊本県に伝わる「ウンスンカルタで遊ぼう！」(20日)をみんなで楽しめます。

◆親子で遊ぼう◆

子どもたちにとって「親に認められている安心感」は何より大切です。親子でいっしょに遊びながら、ほめてもらったり、手伝ってもらったり——しっかりと話を聞いてくれたという経験は、子どもたちにとって「認められている」という安心感につながります。



第17回親子体験ワークショップ
くつ屋さん～ドカドカぐつ～
11月1～6日(造形スタジオ/開館時間中)

紙をよくもんでやわらかくすると、布のような感じになります。自分の足に巻きつけてくつ作り。お父さん・お母さんの大きなくつ、ぼくとわたしのかわいらしくつ——それぞれ、一つずつ作ります。

おはなし人形広場 11月3・27日(プレイホール/15時)

演じる人の息づかいが伝わってくる、人形劇による「生の人形劇」です。
11月3日：「きつねとあそんだ話」(人形劇・木ぐつの木)
11月27日：「3びきのこぶた」ほか(えんがいはいほいくえん にやにゆによ)

なかよし映像広場～家族みんなで映像あそびスペシャル～ 11月3日(Bスタジオ/13時30分、15時30分)
大きなスクリーンに登場する、恐竜の「ガオくん」といっしょに、親子で体を動かして遊びます。

写真
こども
の
城
の
写
真
展
開
催
中

この服はだれのもの？日本の子ども？それとも外国の子ども？何歳くらい？どんな顔をしているんだろう？この古い洋服(古着)は、フランスのクリスチャン・ポルトンスキーという美術家の展覧会(『離散』1993年)に展示されていたものです。ポルトンスキーは、ナチによる大虐殺の悲劇をイメージさせるために、山のように古着を積み上げました。オノデラさんはその古着を何枚かもらってきて、パリのアパートの窓辺に一点一点立たせて撮影しました。ポルトンスキーが死の象徴として使った古着を、オノデラさんは生き返らせたいのです。体は写っていないけれど、どんな女の子が着ていたのか見えるような気がします。……ほら、動いた！

コレクション展「こどもの情景～原風景を求めて」は、12月4日まで東京都写真美術館(03-3280-0099)で開催しています。

オノデラユキ 古着のポートレート no.7 1994年(「こどもの情景 原風景を求めて」展より)



みんな で遊んで

家族の絆を深めよう

きずな

「こどもの城」ファミリーフェア
10月29日～11月30日
休館日：10月31日、11月7・14・21・28日

◆家族でなかよく、楽しく◆

子どもたちの遊びを見守るだけになってしまいがちなお父さん・お母さん。子どもたちといっしょに楽しみながら遊んでみましょう。子どもはお父さん・お母さんが楽しそうに遊んでいる姿を見て、より遊びに興味をもちます。いっしょに遊んでくれる人がそばにいることで、安心して遊びを楽しみ、親子の「絆(きずな)」も深まります。

不思議な映像実験室
～絵が動いて見えるおもちゃの展示とワークショップ～
11月27日(Bスタジオ/12時30分～17時)

視覚がん具の展示とワークショップ—「ソーマトロップをつくらう」(13時30分～14時30分)、「ばたばたアニメをつくらう」(15時30分～16時30分)—を行います。

こどもの城映画劇場～カナダのアニメーション～
11月13日(Bスタジオ/13時35分、14時35分、15時35分)

「家族」をテーマにした作品を特集。

似顔絵ペインター

10月13日～11月30日(パソコンルーム/平日：14時～17時、土・日曜日・祝日：10時～17時)

カメラで撮影した画像をパソコンに取り込み、ペンで画像をなぞって、似顔絵書き。



ハンズオン広場
～みんなで体験 楽しく発見～

11月12～23日(プレイホール/土・日曜日・祝日：11時～16時、平日：13時～16時)

〈あそび〉をとおしているいろいろな体験と発見をするプログラム。段ボールで遊び道具を作る「チョコキベタあそび発明所」、お土産さんごっこでたくさんの人とふれあう「おしろマーケット」を開催します。



みてこ！よってこ！てこてこパーク
11月23・26・27日(ピロティ/11時～16時)

ピロティが公園の広場に大変身！こま、紙芝居、段ボールの基地作りなどのほか、駄菓子屋さんも。ボランティアのお兄さん、お姉さんといっしょに、家族みんなで楽しめます。荒天中止。

家族で体力測定 期間中の土・日曜日・祝日(健康開発室/時間はお問い合わせください)

家族でスイミング 期間中の日曜日・祝日(プール/10時30分～17時)

◆いろいろな「作品」にふれる◆

全国の子どもたちが作った折り紙作品、造形スタジオで作った造形作品、たくさんの人から寄せられた家族の写真——作品に込められた「おもい」をみんなで感じとります。

第12回全国児童館おりがみ作品展 10月29日～11月27日
第18回おりがみカーニバル (ギャラリー/開館時間中)

「宇宙」というテーマで作った全国28館の児童館の作品と、日本折紙協会会員の作品を展示。

第26回造形スタジオ展 11月1～27日(造形スタジオ/開館時間中)
2010年9月～2011年10月に造形スタジオで行われた活動を作品とおして紹介。

いきいき家族写真展 11月1～30日(4階ロビー/開館時間中)
「家族の絆(きずな)」をテーマにした一般公募作品を4階ロビーに展示。

■「家族の日」と「家族の週間」■

11月の第3日曜日は、子どもたちにとって最も大切な居場所である「家族」を社会全体で応援していこうと、平成19年に国が定めた「家族の日」。そして、その前後1週間は「家族の週間」。家族の重要性について、さまざまな広報活動が展開されます。

児童福祉施設給食用

スキムミルク

料理やおやつ作りにも



イラスト：ナシエ



子どもたちの健康づくりに

スキムミルク(脱脂粉乳)は、牛乳から脂肪分(バター)を取り除いてつくり。スキムミルクの大きな特徴は、乳脂肪が極めて少なく、低脂肪、低エネルギーであることから、飲用にも料理にも様々なお菓子づくりなどに幅広く活用していただけます。

さらに、良質なたんぱく質、カルシウム、ビタミンB2など成長や健康に欠かせない栄養素がたくさん含まれているのも特徴です。

スキムミルクは、動物性脂肪をほとんど含んでいないので、生活習慣病予防に役立つ健康食品としても高く評価されています。

大人だけではなく子どもにも生活習慣病が増えている今こそ、低脂肪、低エネルギーのスキムミルクを上手に給食に取り入れ、子どもたちの健康づくりに役立ててください。

お申し込み
お問い合わせ **TEL 03-3797-5567**

財団法人 児童育成協会 児童給食事業部

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-1 FAX 03-3797-0017

ニュージーランドの良質な牛乳から作った「スキムミルク」を無税で輸入することにより、全国の児童福祉施設に低価格で提供しています。





“秋まつり”でゲームや夜店を楽しむ

「こどもの城の秋まつり～みんなで縁日のしもう～」が、9月23日と24日の両日、開館時間を19時まで延長し、[こどもの城] 屋上ふしぎが丘で開催されました。

魔法少女ジニアさんによるマジックショーが、9月19日に[こどもの城] プレイホールで行われ、200人近い観客の熱気につつまれました。



チームワークが勝利のかぎ!

体育の日の10月10日、「第3回スポーツ鬼ごっこ大会こどもの城CUP」が体育室で開催されました。



手作り“うどん”を親子で味わう

家族で楽しむファミリープレイタイム「うどん打ちに挑戦」が、10月9日に行われ、14組の親子が参加しました。



「ティーンズカフェ2011」を12月11日に開催

カフェでおしゃべりするように、中高生世代同士“本音”で話そう

中学生になると、自分がこれから何をしたいのか、どんな生き方をしたいのかと、漠然と悩みながら生き方の模索を始めます。

現代社会では、学校や家庭のなかで“自分”を探そうとしている中高生世代の間もたくさんいるのではないのでしょうか。

いろいろな思いを持つ中高生世代が集まって、本音で語り合う「ティーンズ・カフェ2011」が12月11日に[こどもの城]で開催されます。

4～5人程度のグループに分かれて、自分のこと、友だちのこと、

将来のことなど、テーマを決めて語り合います。

各グループには大学生世代のメンバーが加わり、カフェのようなリラックスした雰囲気の中で自由に話し合います。

参加費は無料。中学生、高校生の世代の人ならだれでも参加できます(電話または、E-mailによる事前申し込みが必要)。

詳細は下記までお問い合わせください。

お問い合わせ・お申し込み 事業企画部(03-3797-5675)。E-mail teens-cafe@kodomonono-shiro.jp

11月の[こどもの城]の活動から
開館時間 火～金曜日 12時30分～17時30分 土・日曜日・祝日 10時～17時30分
11月の休館日 7・14・21・28日
電話:03-3797-5666
http://www.kodomonono-shiro.jp

音楽ロビー(4階)
音楽の楽しさがいっぱいの音楽ロビー。曜日ごとにさまざまなプログラムを行っています。

プレイホール(3階)
大型の木製アスレチック「わくわくらんど」、まごころなどが楽しめる「幼児コーナー」。

◆なつかし映像広場
スクリーンに映し出された「映像」とふれあいながら遊びます。

◆みんなのここに広場(水曜日15時～)
女性ボランティアによる人形劇、影絵、紙芝居の上演。

◆おりがみあそび広場(水曜日14時30分～15時30分)
女性ボランティアと折り紙遊び。

◆金曜開店!あそびやさん(金曜日 開館時間中)
毎週交代で、いろいろなおもちゃが並びます。

◆小学生ラボ(土・日曜日:月1回/13時～16時)
身の回りの?にせまる科学遊びのプログラム。

◆おはなし人形広場(日曜日/祝日:月1・2回/15時)
人形劇による、「生の人形劇」。

◆親子コーナー
11月6日 2つ屋さん・ドカドカぐつ
11月8日 2つ ふくっぺーカリー
11月29日 びっくりペーパーめがね

◆クリエイティブコーナー(土・日曜日、祝日)
11月3・5・6日 ガーデンショップ～なみ段プラッツ～

◆体育室の一般利用
11月3日 お父さんと運動遊び(14時)/鬼ごっこ(16時)

◆ビッグサタデー(土曜日/10時30分～11時45分)
11月5・12・19・26日 バドミントン(小4～)

◆体力測定
垂直跳び・握力など8項目を測定。全国平均と比較できます。

◆プール
25mの室内プール。利用料:幼児100円、小学生150円

◆絵本の読み語り
絵本のお話します。

◆日曜クラブ
ボランティアといっしょにみんなで遊びます。

◆絵本の読み語り
絵本のお話します。

◆赤ちゃん集合は11月9日
赤ちゃんサロンスペシャル(10時30分～15時/研修室)、ごろごろハイ

◆赤ちゃん集合は11月9日
赤ちゃんサロンスペシャル(10時30分～15時/研修室)、ごろごろハイ

対馬の美津島町地域子育て支援センターで「動くこどもの城」

乳幼児親子対象に“ふれあいプログラム”

31組の親子が参加した実践と指導者向け講習会開催

「動くこどもの城」は、全国の児童館で役立ててもらおうと、[こどもの城]で実践してきた「遊びのプログラム」の企画・立案から実施に至るまでのノウハウを各地に紹介する事業です。

ここ数年、「動くこどもの城」は島しょ部へも行っていきます。島ごとに特徴があり、児童館や子育て支援センターの有無にかかわらずそれぞれに工夫して健全育成、子育て・両立支援など

に取り組んでいます。9月26日には「ツシマヤマネコ」でも有名な長崎県対馬市美津島町で「動くこどもの城」を開催しました。[こどもの城]では、5か月から8か月の、お座りからはいはい、つかまり立ちから歩行へとつながる乳幼児親子を対象とした講座を開講しています。

赤ちゃんの動きに反応して遊びを広げていく

25組が参加して「赤ちゃんといっしょの子育て学習会」開く

「赤ちゃんといっしょの子育て学習会」が、9月16日に[こどもの城]で行われ、お母さんと赤ちゃん25組が参加しました。

午前に行われた「本当は奥が深い、赤ちゃんの遊び!」の講師は、早稲田大学文学部教授(発達心理学)の大藪泰さん。

午後は[こどもの城] 小児保健クリニック村田光範院長の「寝る子は育つ」は本当でしょうか?」の講義。

「それは本当です」という力強い回答がまずあり、睡眠は動物の祖先が海から地上に上がってきた時から、エネルギー消費を最小限に抑え、自然に適応するために必要な現象であったこと。

赤ちゃん大集合は11月9日
赤ちゃんサロンスペシャル(10時30分～15時/研修室)、ごろごろハイ

ハイ(10時30分～11時/体育室)、
たったちつちつタッタ(11時10分～40分/体育室)、てくてくピョンピョン(13時30分～14時/体育室)

運動には、ひざとひじが出ていることが大事なので、まずは服を脱がせてからスタート。

午後は指導者向け研修会を実施。ゴムの風船を子ども代わりにしたり、二人組で親役・子ども役に分かれ、午前と同じプログラムを体験。

全国児童館おりがみ作品展
10月29日～11月27日
こどもの城ギャラリー
開館時間中(10月31日、11月7日、14日、21日は休館)

レスホルモンが夜になっても分泌されたり、性成熟が早くなるなど、夜更かしは子どもの育ちに悪い影響を及ぼす、などのお話がありました。

最後に子育てQ&Aのコーナーもあり、小児保健部のスタッフがお母さんたちの間を回りながら、ていねいに話を聞いていました。



ゆったりした雰囲気の中、赤ちゃんの遊びについて講義

“家族をつなぐ”をテーマに実技講習 保育士など50人が参加

「遊び」から理解する子どものこころの発達

平成23年度子育て支援講習会「親子で遊べるあそびのメニュー」

～家族をつなぐあそびのヒント～が、保育士など50人が参加して9月17日に開かれました。



参加者も童心に帰って宮田さんに合わせて忍び歩き

午前には講師にNHK「おほかさんといっしょ」の振付師宮田雅代さんを講師に招き、番組でもおなじみの曲を使って、手遊びやまねっこ遊び、リズム遊びなどを、実際に身体を動かして体験。

子どもは「遊ぶ」ことが大好きで、遊ぶことで「生きる力」を身につけていく。子どもの発達には、遊ぶことが大切である。

12月11日に[こどもの城]指導者向け研修会「遊び」から理解する子どものこころの発達

[こどもの城]の指導者向け研修会「『遊び』から理解する子ども

のこころの発達」が12月11日に開かれます。子どもたちはままとどろっこ遊びなどの「遊び」をととして、周囲の大人や友だちとかわりながら、自分自身に気づき、いろいろな気持ちを感じ取ることで心が発達させていきます。

受講生から寄せられた、現場で気になる「遊び」や子どもの様子を元にディスカッション。具体的な対応に生かせるように考えます。

□日時 12月11日13時30分～16時30分
□場所 11階会議室
□対象 保育所、保健センター、児童館などで子どもにかかわる人
□定員 30人
□受講料 5,000円
□お問い合わせ 小児保健部(03-3797-5667)まで。

冬のキャンプ参加者募集! 事業企画部 03-3797-5675

冬自然を舞台にした自然体験。カルデア生活とおしどり仲間。
■スキースクール パートI
□1期
12月26～29日/小2～中3/45人/北志賀高原よまぜ温泉スキー場(長野県)/58,000円
□2期
平成24年1月4～7日/小2～中3/45人/ニュー・グリーンピア津南(新潟県)/58,000円
■ちびっこ冒険団 インウィンター
12月25～28日/小1～3/45人/埼玉県青少年総合野外活動センター(埼玉県秩父市)/39,000円

インフォメーション
■青山劇場
●アイ・ラブ・坊ちゃん2011～夏目漱石が「坊ちゃん」を書いた11日間～
●劇団MMC
●青山演劇 LAVO #005
●アイ・ラブ・坊ちゃん2011～夏目漱石が「坊ちゃん」を書いた11日間～

いきいき家族写真展
家族の絆(きずな)
11月1・15・29日/4階 音楽ロビー

みなさんから寄せられた“家族の姿”を展示
11月1～30日 4階ロビー(開館時間中/要入館料)